



問 美里町こども計画とアンケート調査・若者ワークショップ・若者会議の提案等について

答 まちづくりにおいて、子ども・若者自身の考えに耳を傾け、活躍できる仕組みを定着させ、若者ワークショップを実施したい(町長)

「美里町こども計画」と「中学生ワークショップ・子ども・若者アンケート調査」等について

町長は、児童福祉施策について安心して子育てができる環境整備として、新規事業でショートステイ事業や一時預かり事業など、ステップアップ対策も実施予定とのことです。私は、教育と福祉、保健の一本化、職員が一丸となって、未来を担う全ての子どもたちが身体的、精神的、社会的に将来にわたって幸せな生活を送ることができると考えています。

等について答弁を求めます。次期計画では、子ども自身の視点や権利を主軸として、若者世代の貧困等困難な状況への支援策や家庭や地域、社会全体で支援する体制づくりを盛り込んだ「美里こども計画」とします。策定計画の過程におきましては、居場所づくりに関する中学生ワークショップや、アンケートによる子ども若者の意見聴取を実施しました。子ども・若者自身が活躍できる仕組みを定着させることは大切です。

「中学生ワークショップ」は、美里中学3年生全員を対象にグループワークを実施しました。「居たい場所」は、気軽に歩いて、落ち着いて過ごせる場所であり、その場でのおんぶりすることや読書・勉強などが求められております。また、「子ども・若者アンケート調査」では、定住促進や居場所の充実に求められていることが伺えます。

「高校生や大学生など若者ワークショップ・若者会議」の提案等について

高校生や大学生などの若者ワークショップ・若者会議等を提案したい。美里町の将来や今後の課題等、美里町のまちづくりの地域おこし協力隊としての参加や情

報交換会等の開催が必要と感じています。中高生会議なども開催を検討していただきました。人選等については、二十歳を祝う会等の参加者への働き掛けも可能だと思えます。まちづくりのアイデアや提案実行へ繋げることが重要と考えます。

町長 つきましては、その具体的取り組みとして、非常に効果的と考え、令和7年度より若者ワークショップを実施したい。実際に町を歩いて、地域の人たちや行事、伝統に触れてもらい、自分たちの企画・提案したものを実行してもらおう。そうした一連の活動



●その他の質問
\*美里町の教育行政と学校運営等について(教職員の働き方改革・デジタル教科書等について)

の中で、地域とのつながりや絆が生まれ、気づいたらまちづくりを担っている、町に愛着が湧いてくる、そのような仕組みを作りたい。まずは若者ワークショップを実施し、主体的にまちづくりに取り組む若者を育み、人口減少の中でも活力ある町であり続けるよう取り組んでまいります。





## 問 県の令和6年度事業予算の進捗状況は

**答** 用地買収の予定が遅れて大変申し訳なく思っています (町長)

### 甘粕地区産業団地の整備事業について

**問** 県と農地調整のめどがついた段階で農振農用地区域からの除外と今年度(令和6年)内には地権者と土地売買契約を完了させた

いとこの町長発言がありました。また、埼玉県の令和6年度事業予算の中に、環境調査、用地買収、実施設計等4億7167万4千円とありましたが現在の進捗状況をお聞きします。

**町長** 県企業局の予算では、美里甘粕地区産業団地の令和6年度予算として環境調査や用地買収などの費用

4億7000万円余りが計上されており、環境調査につきましては、既に、業務委託が発注されて今月中には完了する予定とのことです。

しかしながら、用地買収とその後行う実施計画はまだ、未着手となっています。

用地買収が遅れている理由については、事業予定地は農振農用地で県企業局は農地法の転用許可が不要であるため、法的には現状でも用地の買収は可能ですが、その後の円滑な事業の進行を確保するため、農振農用地の除外に向けた県の同意書が交付された後に、地権者の方々と土地の売買契約を締結することに

なっています。

現在この同意を得るための申請を県農林部に提出済みであり手続きを進めているところです。まだ用地売収に着手できていない状況です。

地権者をはじめとする地元関係者の皆様には年度内と申し上げていた用地売収の予定が遅れておりご心配をかけておりますこと大変申し訳なく思っています。

地権者の方々への契約説明会は県から同意書が交付されましたら直ちに行います。

### 美里町立小学校統合について

### 問

令和6年10月31日付けで美里町立小学校統合準備委員会から報告書が提出され、3月議会では美里町立学校設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例が提出されました。小学校統合の進捗状況と町民への情報提供をどのように今後考えているのかお聞きします。

### 教育長

統合小学校に必要な教室や特別教室、附属施設等の構想について審議・検討が行われました。令和6年10月に報告書が提出され開校時期については令和11年4月1日が望しいとの報告が出され、令和7年度中には小学校統合基本計画を策定し次の階

段に進むことが望ましいと考えています。町民への情報提供については、児童生徒や保護者だけではなく地域住民の皆様にも十分な情報提供を行うことが重要であると考え、「広報みさと」及びホームページで進捗状況を広くお知らせし新たな小学校が完成していく過程を共有してまいります。



美里中学校



### 美里町危険老朽空き家補助金の引き上げについて

**問** 核家族化と少子高齢化による人口減少に伴う空き家増加と解体費用の高騰を踏まえ、現行の補助金50万円の引き上げについて町のお考えを伺います。

**町長** 町は「美里町まちの景観と空き家等の対策の推進に関する条例」を制定し空き家対策に取り組んでいきます。令和5年度には町内の空き家実態調査を行い、町内には空き家は235件ありました。

補助金の引き上げについては、どこまで補助金でカバー

### 美里町危険老朽空き家除去補助金の引き上げについて

**答** 個別具体的に对应し、その上で、補助額の増額が必要であれば検討したい（町長）

すべきなのか、現在お住まいの方との公平性の観点から考える必要があります。また、美里町は比較的土壌が安い傾向にあることや、更地にしたことで固定資産税の特例が切れてしまうケースもあります。町では補助金の対象となる住宅では、解体や売却額を調査する補助や、宅建協会の協力が得られる仕組みも作り、空き家所有者への個別対応を開始しています。まずは空き家所有者に意向を伺い個別具体的に对应し、必要な支援をしてまいりたいと考えています。その上で、補助額の増額が必要であれば検討したいというふうに考えております。



### 臭気計の測定結果を基にした工場への対応について

**問** 令和6年12月定例会において、工業用クリーニング工場から発生するにおいを取り上げ、直ぐに町が臭気計を導入。関係法令の一部を改正等し、指導しやすい状況になることから、臭気計の

データを工場に伝え、どのように対応を求めめるのか、また、工場への改善指導や協議の進め方についても伺います。

住民の方からは、夏、暑くて換気をしたいが窓を開ける事ができない。科学的なお臭いを嗅いでいると気分が悪くなる。悪臭は空気より重いのから上空に拡散されず地上に滞留してしまう。夜、窓を開けて寝ると臭くて目が覚めることもある。このように何十年にも渡り、住民は我慢し体調が悪くなることも多々あるのです。

**町長** 今までは、悪臭の許容限度は臭気指数でした。ご指摘の施設では今までに

測った経緯では、許容限度を超えていました。私は、臭気指数だけではなく、いわゆる地域の住民の皆さんが悪臭であるということや皆さんで言っていただけならば、悪臭であるという考え方で町は指導する。そのための条例案を作ろうとしているところです。





問

本庄市は、中学生に限って同じ校舎内に不登校の生徒へ教育支援センターを設けています

答

早稲田大学本庄キャンパス内にあるふれあい教室が有効であると考えております（教育長）

学校のいじめ対策等について

問

いじめ等をキャッチする友だちアンケート、生活アンケート、体罰アンケートは個人情報を守られているのか伺います。

教育長

いじめ等を把握するアンケートに関しては、町内全ての学校で実施されています。これらのアンケートでは、個人情報の保護が最優先事項として位置づけられており、全ての学校が記名式で、児童生徒の悩み等に対応できるよう整えています。情報は、学校内で適切に共有されており、いじめの早期発見の手段として機能していま

す。体罰に関するアンケートについては、回収方法についても個人情報が漏れないよう対策を講じており、アンケートで得られた内容は、教育委員会や管理職等で適切な情報共有と児童生徒の心身の健康を守るための手段として機能しております。

問

さわやか相談室の利用方法を伺います。

教育長

さわやか相談室は、プライバシーに配慮しつつ、生徒がリラックスして相談できるよう環境を整え、いつでも相談室を利用できます。

不登校生徒について

問

学校になじめないことやいじめから、特に中学校から不登校の生徒が全国的に目立ち始め、社会問題になっています。先日、議員視察で伺った長瀬町立長瀬第一小学校では「スペシャルサポートルーム」という部屋を開放し、自分のクラスになじめず、不登校の生徒が入る教室があります。現在4名ほどが在籍中と伺いました。

同様な形で深谷市でも行われています。名称は「アプローチルーム」と、夜に週2回行われる「いきいきナイトスクール」です。小学校が19校、

中学校が10校あり、323人が利用しています。そのうち65人が自分のクラスに復帰することができたそうです。美里町でもこのような校内教育支援ができないか伺います。

教育長

不登校児童生徒のためには本庄市、上里町、神川町と協力し、早稲田大学本庄キャンパス内に、ふれあい教室を設置しており、ふれあい教室は不登校などの児童生徒が個別の支援を受けることにより、再び学校へ登校しようとする意欲を喚起することを目的としています。

問

本庄市は令和6年度からふれあい教室という

のを始めて、中学生に限って同じ校舎内に不登校の生徒へ教育支援センターを設けています。

美里でも外に出してしまわず、高校受験を控えた中学生へ開放していただきたい。

教育長

現時点では早稲田大学本庄キャンパス内にあるふれあい教室が有効であると考えております。





## 問 全職員へのハラスメントアンケート調査について

**答** 快適に働くことのできる勤務環境を確立することが重要（町長）

### 全職員へのハラスメントアンケート調査について

**問** 各ハラスメントについて、アンケート調査を職員全員にお願いしたとのことですが、どのような意見があったのか、集計結果についてお聞きします。

**町長** 職員が個人としての尊厳を尊重され、快適に働くことのできる勤務環境を確立することが重要であり、職場環境が安定化されればと考えております。アンケートを出す際に、外部には一切公表しない、自由に書いてくださいという形で取っておりますので、公表する考え方はございません。

ございません。



### 正職員の早期退職者が増えている状況について

**問** 原田町政5期目までに、正職員の早期退職者が何名ぐらいいるのかお聞きします。

**町長** これまで35名の職員が早期退職をしております。

す。このうち、勸奨退職者が12名、自己都合が22名、死亡退職が1名でした。

**問** 職員は町を創るための宝だと思っております。町長は以前、闘う集団をつくらなければならないかと記憶しておりますが、町長が出すイローカードは何枚で降格、または退職届を提出しなければならぬのかお聞きします。

**町長** 職員に対して理不尽な圧的な言動をする方に改善いただくため、例としてイローカードと言葉を表現したもので、職員に対するものはございません。

**問** 各課局で職員体制の不具合が生じているようですが、その内容についてお聞きします。

**町長** 当町の固有課題として40歳代の人材が少なく、将来的な職位の配置が難しくなることが想定され、顕著化しつつある組織体制の不具合と感じております。一方、職員採用試験の応募者数は、ここ数年特に低迷し、場合によっては会計年度職員でしのいできたところであります。

そこで、令和6年度の採用からインターネット上で受験できる能力試験に変更し、年齢制限を59歳まで拡大しました結果、全国から250名を

超える方々からご応募をいただきました。

新卒の職員が定年まで在職することが当たり前ではなくなっております。民間で活躍している優秀な人材を獲得し、持続可能な組織による町政の推進に努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお祈いします。

